

＊

ニュースレター

＊

2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より



[20周年を迎え日本歯科審美学会のさらなる展望を](#)
日本歯科審美学会元副会長 名誉会員 寺河國秀



[第20回日本歯科審美学会総会・学術大会のご案内](#)
松村英雄 (日本大学歯学部歯科補綴学教室III講座)



[セミナーのご案内](#)

- [第4回セミナー](#)
- [第5回セミナー](#)



[ホワイトニングコーディネーター講習会のご案内](#)

ホワイトニングコーディネーター委員会委員長 佐藤 孝

[平成21年度春季認定・認定士申請ご案内](#)

認定医審議会・認定士審議会委員長 宮内修平



[ASDA年次大会報告](#)

BAY東京矯正歯科クリニック (札幌) 小久保幸宏



[学術大会報告](#)

第19回日本歯科審美学会総会・学術大会大会長 加藤喜郎

[委員会報告](#)

- [編集委員会](#)
- [学術委員会](#)
- [セミナー委員会](#)
- [国際渉外委員会](#)
- [認定医審議会・認定士審議会](#)
- [ホワイトニングコーディネーター委員会](#)
- [MTM研修推進委員会](#)
- [歯科技工士部門](#)
- [歯科衛生士部門](#)
- [表彰委員会](#)
- [広報委員会](#)



[福岡歯科大学口腔顔面美容医療センターの紹介](#)

福岡歯科大学口腔顔面美容医療センター・センター長 佐藤博信

[賛助会員一覧](#)

| [Back](#) |

Copyright © Japan Academy of Esthetic Dentistry, All rights reserved.

2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より

巻頭言



20周年を迎え日本歯科審美学会のさらなる展望を

日本歯科審美学会元副会長名誉会員 寺河國秀

“人は歴史を創り、歴史はまた人を創る過去を知る者は、現在を良く理解し、現在を理解するものは、より偉大な未来を創る”

自然の巧みさを解明しようとする、人類の好奇心と叡智は科学を生み、自然の不思議な輪廻転生に敬虔の念を抱いたとき、信仰が生まれ宗教が育ち、自然の美しさに驚きと喜びを感じたとき、芸術が生まれ、“美しさ”への憧れと美的探求の道のりが始まったのである。

人間の知、情、意すなわち知性、感情、意思の総合された感性に訴えてやまない感動、美しさ、華麗さ、優雅さ、そして、人間の本能ともいえる、真、善、美が自然と一体になったとき、美学としての体系が生まれたのである。歯科医学は科学であり、歯科医術は技術であると同時に芸術でもあり、歯科医療は病める人を、癒す実践宗教である。医政は政治で、医道はまさに“道、タオ”であり、哲学である。まさに **Dentistry is Science and Art**. 歯科は科学であり、芸術である。

第一世代の科学は観察と記録から始まった。

第二世代の科学は原因の追求と分析であり細分化、専門分化である。

第三世代の科学は有機システム的な統合であり、全体的な総括である。

これからの科学は1つの専門分野の発展ではなく、際的、産際的（各種産業が融合し和合）にオーケストラのようにシンフォニーを奏するような課題と目的と方向性を持たねばならない。 **From Solo to Symphony !**

歯科分野における“美学”とは、自然で綺麗な人工歯をどのように作るかという、ただ単なる補綴や技工の問題ではなく、患者特有の個性的で、健康な美しさの再現であり、自己主張の基本的要素である表情の再構成でもある。表情は言うまでもなく顔が基本である。顔のない人間は存在しえない、また口のない顔も存在の意味がない。

1988年4月17日、一年間の準備期間を重ね羽賀、丸山、平沼、橋口、藤井、和久本、松尾、添島、河原、腰原、西浦、桑田、寺川等によって始められた日本歯科審美学会が20周年を迎えた。世界の審美歯科学の先達 Irwin Smigel、Philip Gallon、李在賢、Ronald E. Goldstein先生らの、本会発足当初からのご指導ご支援も忘れることはできない。日本歯科審美学会も今や3,000余名の会員を擁し、日本歯科医学会分科会として国際的、学際的、総合的な新たな展開を期するものである。

2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より

第20回日本歯科審美学会総会・学術大会のご案内



日本歯科審美学会は平成19年4月に認定分科会として日本歯科医学会に加入を認められました。そこで、本大会は2008年に開催された歯科医学会総会のテーマ「未来に向けた歯科医療」にちなみ、「未来に向けた審美歯科 Esthetic Dentistry:Toward the Future」を大会テーマとさせていただきました。

開催が秋の大型連休の入口にあたり、交通、宿泊の確保においてご不便をおかけするかも知れませんが、業界大手の日本旅行に斡旋をお願いして会員各位の移動には万全を期する所存です。

大会プログラムとして以下の企画を予定しております。会員の皆様の参加をお待ち申し上げます。

- 【会 期】 平成21年09月19日(土) / 20日(日)
- 【会 場】 品川区立総合区民会館(きゅりあん)
- 【大会長】 松村英雄(日本大学歯学部歯科補綴学教室III講座)
- 【準備委員長】 宮崎真至(日本大学歯学部保存学教室修復学講座)
- 【実行委員長】 小峰 太(日本大学歯学部歯科補綴学教室III講座)
- 【大会WEB】 <http://www.jdshinbi.net/> (準備中)

【学会プログラム】

●9月19日(土)

市民フォーラム

- 『幸せを呼ぶキレイの力 審美歯科で歯っぴースマイル』
- 「審美歯科で健口実」久光 久(昭和大学歯学部)
- 「夢を叶えるそうじカ」舛田光洋(そうじカ研究会)ほか

海外講演

Sim T.E. (President, Asian Academy of Aesthetic Dentistry)

シンポジウムI『審美修復におけるチームアプローチー認定医・認定士の役割ー』

- 「審美修復における日本歯科審美学会認定医・認定士の役割」
- 末瀬一彦(大阪歯科大学)
- 「支台歯形成、印象採得から装着まで」
- 宮内修平(みやうちデンタルクリニック/大阪市)
- 「審美修復における技工指示内容と製作技法のポイント」
- 山本尚吾(BeR/東京都)
- 「審美修復における前処置と術前、術後の管理」
- 中村映子(ナグモ歯科クワバラクリニック/さいたま市)

●9月20日(日)

シンポジウムII『審美歯科への新たな切り口 ジルコニアセラミック修復』

「ジルコニアセラミック修復の臨床術式」
六人部慶彦（むとべデンタルクリニック／大阪市）
「ジルコニアセラミック修復の技工術式」
山田和伸（カस्पデンタルサプライ／名古屋市）ほか

特別講演『口腔外科・形成外科と審美歯科』

米原啓之（日本大学歯学部口腔外科学教室II講座）

シンポジウムIII『う蝕の進行ステージと審美歯科 かかりつけ歯科における対応』

日野浦光（日野浦歯科医院／東京都）ほか

シンポジウムIV『審美歯科を科学する』

「歯の色調を科学する」
高橋 登（タカハシデンタルオフィス／東京都）
「ホワイトニング材の歯質への影響を科学する」
向井義晴（神奈川歯科大）
「審美歯科のマーケティングを科学する」
須崎 明（パンダ歯科／愛知県）
「Mechanical tooth cleaningを科学する」
小林明子（小林歯科医院／調布市）
「コミュニケーションを科学する」
宮地理津子（CURRENT-R（株）・成増歯科医院／東京都）

一般口演、ポスターの演題を募集いたします。詳細は学会誌「歯科審美21巻2号」に掲載されます。ランチョンセミナーと企業展示を開催いたします。他に認定研修に関連した講演等も企画します。大会開催が秋の大型連休初日にあたりますが、会員の皆様は予定表に「審美学会」のチェックをお願いいたします。なお、交通、宿泊の申込は下記にアクセスしてください。

(<https://apollon.nta.co.jp/20jaed/>)

【大会事務局】

第20回日本歯科審美学会学術大会事務局
〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13
日本大学歯学部歯科補綴学教室III講座
Tel03-3219-8145 Fax03-3219-8351
E-mail komine@dent.nihon-u.ac.jp



2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より

セミナーのご案内



●第4回セミナー

- 【日 時】 2009年3月1日 (日) 10:00~16:00
- 【会 場】 福岡国際会議場 (福岡市)
- 【定 員】 先着200名
- 【内 容】 『開業医として成功するには? Part2』
**“歯科臨床~まず「ストマトロジスト」
 それから「デンティスト」~チーム医療として”**
 講師：筒井照子先生 (福岡県開業)

**“これからの歯科医院を成功に導くためには”
(チーム医療と我々がやるべきこと)**

講師：木原敏裕先生 (奈良県開業)

今回、筒井照子先生にはご自分の臨床の中での歯科衛生士とのチーム医療を、木原敏裕先生には歯科衛生士分野のみならず歯科技工士分野まで含めたチーム医療についてお話しいただきます。



●第5回セミナー

- 【日 時】 2009年3月8日 (日)
- 【会 場】 ATCホール (大阪市)
- 【定 員】 先着800名
- 【内 容】 **“ホワイトニングフェスティバル 2009
Spring@OSAKA”**
 ホワイトニングコーディネーター委員会とジョイントセミナーを開催いたします。先生方によるご講演、10ブースに分かれての先生方によるハンズオン、Q&A、そしてメーカー展示など、ホワイトニングにおける一大イベントです。

2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より

ホワイトニングコーディネーター講習会のご案内

平成21年度のホワイトニングコーディネーター 講習会日程決まる！-沖縄での開催も企画-

ホワイトニングコーディネーター委員会委員長 佐藤 孝

ホワイトニングコーディネーター認定者数は通算11回の開催で3,170名（平成20年12月現）となりました。過去東京、大阪、名古屋、福岡と主要都市や学会開催地を中心に行ってききましたが、今年もより多くの歯科衛生士の方々にホワイトニングの正しい知識を伝えていくことを目指して、沖縄での開催をも企画いたしました。

全国津々浦々から、多くの歯科衛生士さんたちにWC講習会にご参加いただいておりますので、少しでも皆様方の時間と費用の便宜を図るべく、全国各地での開催を考えております。御希望の都市・開催地などありましたら一考させていただきたく思いますので、事務局までご連絡いただければと思っております。

尚、平成21年度の講習会開催予定は下記の通りです。即座に満席となってしまう可能性がありますので、もしお知り合いで受講希望の方がいらっしゃいましたら、早めにお声をかけていただければ幸いです。



【平成21年度WC講習会開催予定】

- **第13回** 平成21年5月17日（日）
神奈川・鶴見大学記念館／400名
- **第14回** 平成21年6月28日（日）
沖縄・沖縄コンベンションセンター／200名
- **第15回** 平成21年9月6日（日）
大阪・大阪国際会議場／500名
- **第16回** 平成21年11月15日（日）
福岡・福岡国際会議場／250名
- **第17回** 平成22年2月7日（日）
埼玉・大宮ソニックシティ／400名





2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より

平成21年度春季認定医・認定士申請ご案内

認定医審議会・認定士審議会委員長 宮内修平

本審議会の主たる目的は、会員の方により多く認定医・認定士を取得していただくこととあります。それにより、会員ならびに学会のレベル向上を図り国民の健康福祉への貢献に寄与することが可能であると考えます。しかしながら、現実には認定医取得希望者は極めて少なく、今後の見通しも非常に厳しいと言わざるを得ません。本審議会としてはその原因と対策について検討してまいりました。原因を探るべく、平成20年夏期に本会評議員を対象にアンケートも実施いたしました。その結果、いくつかの興味深いご意見がございました。それらの貴重なご意見を参考にさせていただきながら今後とも有効な打開策を打ちたて、活動していくつもりですので皆様にはどうかご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

●認定医・認定士の申請者の増強

平成20年度春季の第23期認定医試験および第9期認定士試験の結果、新たに3名の認定医および5名の認定士（歯科衛生士5名）が誕生いたしました。おめでとうございます。しかし、秋季の第24期認定医申請者はわずか2名と極めて少ないのが現状です。

現在、本学会員総数に比べて認定医79名、認定士42名（歯科技工士27名、歯科衛生士15名）であり、認定医、認定士（特に歯科衛生士）は未だ非常に少ないのが現状です。認定医あるいは認定士を取得するに十分なる実力をお持ちの会員が多数おられるにもかかわらず申請者が極めて少ないため、認定審議会としては、学会の活性化のためにもそれらの方々に積極的に申請していただけるよう申請条件の緩和など色々と方策を練っております。

資格・申請等に関するご質問は、学会事務局にお問い合わせください。

●平成21年度春季認定医、認定士申請の予定

第25期認定医申請者に対して平成21年4月1日～平成21年4月30日を申請受付期間とする。第10期認定士申請者に対し、平成21年3月1日～4月30日を申請受付期間とする。ただし、平成21年3月1日～3月31日までに認定士申請の場合は暫定措置の適用となるので申請希望者は学会誌、ホームページにてご確認ください。

認定資格取得ご希望の会員は、奮って申請をしてください。



2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より

ASDA年次大会報告

第32回ASDA米国歯科審美学会に参加して

BAY東京矯正歯科クリニック（札幌） 小久保幸宏

第32回米国歯科審美学会（American Society for Dental Aesthetics）が2008年10月23日～25日、アリゾナ州のフェニックスにて開催された。

フェニックスは広大な砂漠の中にあり米国の中でも夕陽が濃いオレンジ色に染まる事でも有名で空港は別名「スカイハーバーエアポート」とも呼ばれている。

今回の参加は札幌ライオンズ歯科 坂本洋介先生の御好意により実現できたものである。また名誉会員（フェロー）となられた当会理事の東京の橋場干織先生、仙台の猪苗代雅俊先生の授与式にも参加する事ができた。

学会は一般講演に加え、ハンズオンのセミナーも充実しており、日本をはじめ韓国などからも参加者は400名を超え盛大に開催された。ASDA創始者、会長であるDRアーウィン スマイゲルは74歳の今でも現役で治療を行っており、初日の会長講演では矯正治療後の後戻りに対する審美歯科治療という内容で個々の歯に対する美しさから「Dental therapy」となるべく心のケアまでの歯科医師のあり方をVTRなどをまじえながら講演された。また他の講演ではダイレクトボンディング治療、最近のCAD-CAMによるクラウン形成時の注意点などベーシック部分と最新の情報が豊富であり、矯正専門医の自分としても大変参考になる内容であった。

最後に初参加の私にお気遣い下さった当会監査役 寺川先生をはじめ会員の先生方に心から感謝します。来年のASDAはフロリダ州ゴールドコーストで開催される。参加希望の先生方は坂本先生まで。





2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より

学術大会報告

第19回日本歯科審美学会総会・学術大会開催報告



第19回日本歯科審美学会総会・学術大会大会長 加藤喜郎

第19回日本歯科審美学会総会・学術大会は平成20年10月12日・13日の両日にわたって日本歯科大学新潟生命歯学部で開催されました。学会開催に際しては、皆様方から絶大なるご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。お蔭様で600名以上の方々のご参加を得て、無事盛会裏に終了することができました。

複数会場（3～4会場）にわたって同時進行いたしましたプログラム：口演発表・ポスター発表ならびにシンポジウム等々では、熱心なご討議を頂きました。実際に行われたプログラムの詳細はニュースレターVol.17 2008 Summerを再度ご参照いただくとして、どの講演・発表におきましてもご好評を賜り、主管講座として心から感謝いたしているところです。

また一般市民に開放しました市民フォーラムにも多数の参加者を得ることができ、審美歯科領域の啓蒙に大きく寄与したものと推察しております。

加えて、大会初日の夜にANAクラウンプラザホテル新潟（旧ホテル新潟）で開催しましたブラックタイ・ウエスタンスタイルフルコース・エンターテイメント付ガラディナー（ザ・ブルースカイズの生バンド演奏、アマチュア3組とプロフェッショナル2組のダンスデモンストレーション、新潟弁を解説したショートスピーチ、学会員参加型のダンスタイム）についても大勢の方々のご参加をいただいて盛大に行うことができました。深更まで懇親を深めていただき、生涯に渡って残る思い出を作っていただけたことと思っております。ご協力ありがとうございました。本稿では、写真を多めに掲載しましたので当日の懐古に役立てていただければ幸いです。

なお当日は不行き届きの点多々あったかと存じますが、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。



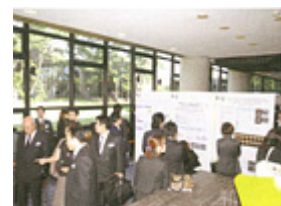
久光 久学会長（左）、
加藤喜郎大会長（右）



特別講演II
／市民フォーラムI
歴史小説家 火坂雅志氏



シンポジウムII
右から川田、新海、
東光、鈴木の各先生



ポスター発表
会場は質疑応答で熱を帯びた



ガラディナーオープニングで挨拶する加藤大会長



乾杯の音頭を取られる名誉会員 寺川國秀先生



Sung会長はじめ韓国審美学会代表の先生方



生バンド“ザ・ブルースカイズ”の音楽に乗ってステップを踏む会員



アマチュアダンスデモンストレーター 左から笹原組、加藤組、土川組

委員会報告

編集委員会

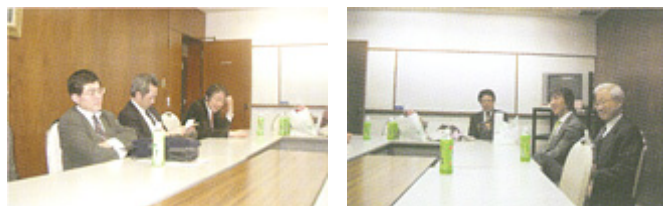
前回のニュースレター以降のご報告事項としましては、「歯科審美・第21巻1号」を平成20年9月に発行致しました。特集記事としては、「第20巻2号」に続き「歯のホワイトニング」をとりあげました。

平成20年11月28日に今年度第2回編集委員会を開催致しました。主な協議事項は、第21巻2号の編集でした。特集については、「審美と接着」というテーマで、田上順次先生、松村英雄先生、中村隆志先生の3人の先生方に執筆をお願い致しました。また「審美歯科関連の外来紹介」につきましても、これまで10大学に執筆をお願い致しましたが、今回は北海道大学と福岡歯科大学をお願い致しました。今後も引き続き各大学に執筆のご依頼をさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

またこれまでの投稿規程を見直し、次号から新しい投稿規程が適用されます。かなり以前にできたもので現状にそぐわない点等がありましたので、他学会の規程等を参考に改訂致しました。今後投稿される際は新しい投稿規程に沿って原稿を執筆して頂きますようお願い申し上げます。

今後とも学術大会で発表された研究につきましては積極的に「歯科審美」に投稿して頂きますようお願い申し上げます。これからも編集委員会としては紙面充実に努力していきたく思いますので、皆様のご協力をお願いする次第です。

(委員長 寺田善博)



| [Back](#) |

学術委員会

学術委員会の意気込み

平成21年も穏やかに年が明けましたが、昨年の世相を表す漢字は「変」、アメリカ大統領に就任されたオバマ大統領が昨年スピーチで度々口にした言葉が「CHANGE」でした。世の中まさに「変化」が求められ、新しく変わろうとしています。歯科界においても大きな変革が求められています。日本歯科審美学会も、久光会長の2年目を迎える年で、各委員会においてもいろいろ企画を練っておられるようです。学術委員会では、「第20回日本歯科審美学会学術大会(松村英雄大会長)」開催のサポートをすることが大きな任務ですが、学会全体としては、それぞれの委員会

が企画される講習会や研修会を取りまとめ、理事会での承認そして会員への周知徹底を図るべく責務があります。これまでそれぞれの委員会などで企画、運営、開催されてまいりましたが、企画立案後は、直ちに理事会での承認と会員への広報が何より大事であると思います。一つの学会として少なくとも役員会でのコンセンサスが得られなければ、せっかくのすばらしい講演会や研修会も「日本歯科審美学会」としての役割が半減し、参加者への意識付けも薄れるように思います。昨年、会員数3,000名を突破し、益々「日本歯科審美学会」が注目され、充実した学会に育てるためには役員、会員が一丸となることが大切だと思います。歯科界の明るい話題提供は「歯科審美」においてほかにはありません！今こそ、私たち会員が「日本の歯科界」を変革しなければならないと思います。厳しい時代にこそ「CHANCE」があり、「CHANGE」するために「CHALLENGE」しなければなりません。先輩諸氏が築きあげられた「日本歯科審美学会」をさらに発展させるための変革に、学術委員会が少しでもお役にたてるよう今年もがんばります。

追伸：私事ですが、昨年は「第4回国際歯科技工学術大会」を開催させていただきましたところ、久光 久会長はじめ日本歯科審美学会の皆さんには格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。メインテーマの中にも「審美修復」を掲げさせていただきました。おかげさまで、4,500名を超える参加をいただき、盛会に開催することができました。本当にありがとうございました。

(委員長 末瀬一彦)

セミナー委員会

今年度のメインテーマを「審美歯科を活用し、医院を活性化する！」とし、サブテーマとして「チーム医療」を掲げております。開業医の多くの会員の先生方の明日の臨床にすぐお役に立つような企画と昨年から開催されておりますホワイトニングコーディネーター義成セミナーへのフォローとしてのコーディネーター委員会との合同セミナー開催の二本柱で活動しております。

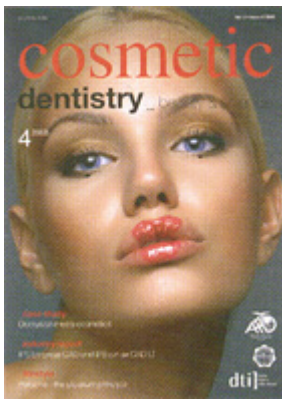
第3回セミナーは2008年12月21日（日）に、東京お台場のTFTホールにて“ホワイトニング フェスティバル2008 Winter@TOKYO”と称して、ホワイトニングコーディネーター委員会とジョイントセミナーを開催いたしました。約600名の参加者に対して田上・宮崎教授によるご講演、10ブースに分かれての先生方によるハンズオン、Q&A、そしてメーカー展示など、ホワイトニングにおける一大イベントを大盛況の中、終了いたしました。大変反響があったと思います。

区分	会員歯科医師	非会員歯科医師区分	会員歯科衛生士	非会員歯科衛生士	合計
人数	66	88	120	315	589

以上のように会員のためのセミナーとして貢献することを第一に考えておりますが、執行部、委員会の先生方のご指導・ご協力をいただき、更に充実したセミナーにしたいと思っております。

(委員長 桑原 栄)

国際渉外委員会



昨年10月に開催された第19国学術大会（新潟）において、韓国歯科審美学会からProf.Jae-Jun Rue（Korea University）を招いてインプラントに関する講演をしていただきました。また、同じ韓国のDr.So-RanKwonには、ホワイトニングに関する講演をお願いしました。今回は韓国の審美学会からDr.Moo-GyungSum会長7名のゲストが学会やガラディナーに出席いただき、新潟大会を盛り上げていただきました。姉妹協定により相互訪問をしますので、今年（2009年）は、11月にソウルで開催される韓国の審美学会に参加する計画です。ここでは、日本の歯科審美学会を代表して、富士谷先生（国際渉外委員・愛知学院大学）が特別講演を行う予定です。久光会長や中村（国際渉外）も参加いたします。日本の会員も多数参加いただくと幸いです。学会の詳細がわかれば、ホームページ等でお知らせします。

アジア歯科審美学会の学会誌に採用された“

Cosmetic Dentistry”

日本歯科審美学会は、各国の審美学会が学会単位で参加して構成されるIFED（国際審美歯科連盟）やAAAD（アジア歯科審美学会）でも重要な役割を果たしております。今年は、8月にラスベガスでIEFD大会が開催されます。ラスベガス大会では、日本歯科審美学会の推薦で宮崎真至先生（日大）が講演されます。日本の会員であれば、登録料も割引になりますので、ラスベガス大会にもぜひ参加いただきたいと思っております。

アジア歯科審美学会では、“Cosmetic Dentistry”誌のアジア版（Dental Tribune International）が学会誌として採用されました。カラー中心の審美にふさわしい美しい雑誌です。日本の会員もこの雑誌に投稿が可能ですので、英文雑誌に症例報告を掲載希望の方はホームページ情報を参考にご利用ください。

（委員長 中村隆志）



ガラディナーにて、久光日本歯科審美学会会長とSung韓国歯科審美学会会長を囲んで

| [Back](#) |

認定医審議会・認定士審議会

会員の皆様方には、日頃より日本歯科審美学会「認定医審議会・認定士審議会」に対しまして格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

以下に、平成20年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

認定審議会ならびに認定制度運営委員会の実施

1. 平成20年8月7日（木）平成20年度第2回合同会議
 1. 第23期認定医試験（プレゼンテーション・口頭試問）の結果、3名全員合格
 2. 第21期認定医保留者1名の試験の結果、発表内容・治療内容に問題あり不合格
 3. 第9期認定士試験の結果、6名（歯科技工士1名、歯科衛生士5名）のうち歯科衛生士5名合格、歯科技工士1名は発表内容に問題あり保留
2. 平成20年12月9日（火）
 1. 認定医更新希望者4名書類審査合格
 2. 第24期認定医申請者2名書類審査合格
第23期認定医審査合格者（歯科医師3名）
富士谷盛興（愛知学院大学歯学部保存修復学講座）、貞光謙一郎（貞光歯科医院）、
椿 智之（ティースアート）
第9期認定士審査合格者（歯科衛生士5名）
益田正子（長崎歯科医院）、林田哲子（広島大学病院診療支援部歯科衛生部門）、中
村映子（ナグモ歯科クワバラクリニック）、寺田典絵（はしば矯正歯科）、永瀬佳奈
（松尾歯科医院）

今後の予定

平成21年2月12日（木）に平成20年度秋季第24期認定医申請者および第9期認定士審査保留者に対してプレゼンテーションおよび口頭試問による審査予定です。

（委員長 宮内修平）

ホワイトニングコーディネーター委員会

ホワイトニングフェスティバル東京

定員オーバーの600名を越える参加で大賑わい！



ホワイトニングコーディネーター講習会も平成19年2月に第1回を開催してから本年3月までに通算11回を数え、受講者数は4,000名を越えました。東京、大阪、名古屋の主要都市をはじめ各開催ともすぐに満席となる状況で、ここからも歯科衛生士のホワイトニングとその資格取得に対する関心の高さが伺えました。

ホワイトニングコーディネーター委員会としましては、資格取得者の知識と技術のフォローアップとして昨年3月に『コーディネーターのためのホワイトニングマニュアルーすべての人に白い歯をー』の出版を行いました。また12月にはホワイトニング実践のフォローアップセミナーとして「ホワイトニングフェスティバル」を開催いたしました。一般の人々のホワイトニングに対する関心度の高さから歯科衛生士、歯科医師の方々へより多くの情報をお伝えすることを目的とし、セミナー委員会と合同で企画いたしました。

東京お台場で行われた第1回ホワイトニングフェスティバル「2008ウィンター東京」では600名を越える歯科医師、歯科衛生士の方々に参加いただき、午前には宮崎真至、田上順次両先生の講義から始まり、午後は企業協賛10個のブースでテーブルクリニックと質問コーナーを設けました。各ブースとも人があふれんばかりの盛況ぶりでした。また、今回特別企画としてお茶、コーヒー、ケーキの提供、サンタクロースの登場によるクリスマスプレゼントなどを行ったことで、会場全体がたいへん賑やかで楽しい雰囲気となり、皆さんに喜んでいただくことが出来たと思います。

参加していただいた多くの方々から「大変良かった。今後もこのようなイベントを審美歯科学会で続けてほしい」というお褒めの言葉をたくさん頂いたことは学会として大変喜ばしいことです。

次回、「2009スプリング大阪」は3月8日（日）（大阪ベイエリア アジア太平洋トレードセンター ATCホール）で開催されます。まだ参加人数に余裕がありますので、皆さんお誘いの上、奮ってご参加下さい。

（委員長 佐藤 孝）

MTM研修推進委員会

昨年から新設されましたMTM研修推進委員会では、本学会におけるMTM（歯の小移動、限局矯正治療）に関するガイドライン作成の前準備として、現在の歯科臨床においてMTMがどのように認識されているか等を含めた内容のアンケートを理事・評議委員の方々を対象に、昨秋実施させていただきました。ご協力いただきました皆様へは、この書面を持って御礼申し上げたいと思います。

アンケートの回答率は46%程度ではありましたが、現在ご自身の臨床にMTMを取り入れているか否かを問わず、回答いただいたすべての方が、頻度の差はあるが審美歯科臨床においてMTM治療の介在が必要であるとお考えになっていることがわかりました。

しかしながら、ガイドラインの内容に寄せられた意見としては、患者様に治療内容の説明をする場合の具体的な指標となるようなチアサイドガイドのような内容のものから、EBMベースとした包括的歯科診療の体系的な習得に役立つようなもの、または安易にガイドラインは作成すべきではない等、多様なご意見をいただきました。本委員会ではお寄せ頂きました貴重なご意見を十分検討しながら、将来皆様に有用に活用して頂けるような、MTM研修指標の骨組みの作成に着手してきたいと考えております。

なお、前回アンケートではお聞きできませんでしたMTMに関する治療費の設定や高頻度に行われる治療内容など具体的内容についてもご意見を伺いたいと考えております。

今後とも会員の皆様のご協力のほどお願いしたいと思います。

（委員長 三浦廣行）

「New Evorution」

「歯科技工士、日本歯科審美学会のためになると思うことは、どんどん発案してやってみなさい！とにかく実行あるのみ。失敗を恐れることはありません、全ては会長である私が責任をとりますから」これは、前会長の田上順次先生からいただいた言葉です。当時、歯科技工士部門の常任理事に就任させていただいてしばらく経ち、これからどのような方向性にこの部門を定めていけばよいのか思案し、ある意味途方にくれていた私を叱咤激励して下さったのでした。この先生のお言葉は今でも私の心の奥に深く刻まれています。

その後、田上先生のお言葉に触発されるように、以前から少しずつ考えていたことを形にするべく行動をし（とても遅い進行ではありましたが）、諸先生方のご指導、ご尽力を賜りながら、計画を進めてまいりました。現在、実行に移すための準備はほぼ整ってきております。

悲観主義的な考え方でなくても、現在、日本における歯科技工士にはかなり多くの諸問題が山積していることは明らかです。しかしながらこれらを払拭し、我々は前に進まなくてはなりません。そのような意味で、機能と形態の調和における審美を追求する審美歯科学会の存在意義は、我々歯科技工士にとって計りきれないほど重要であると私は考えております。

そのような中で、今年は日本歯科審美学会歯科技工士部門から、一つの重要な提案をさせていただきたいと思っております。その内容を、現会長の久光久先生にご相談申し上げたところ、「たいへんに良い提案だと思います。今年は、歯科審美学会の歯科技工士部門のみならず、歯科技工界の新たなる発展の年になることが予想されますね。学会長として見守りたいと思えます。」とのありがたいお言葉をいただきました。歯科技工士部門の新たなる取り組みを、ご支援・ご協力、またご期待いただきたいと思います。

（歯科技工士部門常任理事 中込敏夫）

歯科衛生士部門

2009年1月14日現在の歯科衛生士会員数は、742名となっております。これは、ホワイトニングコーディネーター制度が大きく影響していると思われ、実際にホワイトニングコーディネーターの登録者数は3,167名にも上っています。

また、昨年12月21日に行われたセミナー委員会とホワイトニングコーディネーター委員会共催のホワイトニングフェスティバルでは、443名もの歯科衛生士が参加し、会員の歯科衛生士も97名参加していました。しかし、それとは対照的に認定士の数は大幅に増えていないのが現状です。

この度、「歯科衛生士」1月号（クインテッセンス出版）で、本学会の認定士について紹介させていただくことになり、認定士の資格を取得することのメリットや取得するための条件など詳細事項についてご紹介させていただきました。これを読まれた歯科衛生士の方々に、本学会の認定士に対して関心を高めていただき、審美歯科の分野においても歯科衛生士の活躍の場を見出さずにはない機会になればと思っております。

今後も皆さま方のお力を賜りながら、歯科衛生士の立場からも会の発展に貢献していきたいと思っておりますので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。

表彰委員会

前号でお知らせしましたように、会則第6章第26条に基づき、本会の進歩・発展に寄与し、歯科審美学領域において業績があつたと認められる者を表彰することを目的として、表彰制度の規程・細則・内規及び関連事項の原案作りを行いました。多くの学会で若手だけでなく、学会発展に尽力された功労者、中堅や指導者クラス、コデンタルの表彰も行われています。このような他学会の表彰制度を参考にしながら作業を行い、規程（賞の種類、審査対象、資格、委員会、推薦・応募、受賞数、選考、決定、表彰等、細則）についての条項を定めました。賞については、次のような種類を設けることにしました。現時点では賞の名称は仮称ですが、間もなく最終決定される予定です。1) 学会特別功労賞（本会の発展に功労のあった人物）、2) 学会優秀論文賞（本会の学術領域での業績が顕著な人物）3) 学術優秀論文賞（本会の学術領域で一連の成果を収めている中堅）、4) 学会奨励優秀論文賞（本会の学術領域での活躍を奨励するにふさわしい若手）、5) デンツプライ賞（デンツプライ三金株式会社のスポンサーシップによることを明文化して実施）、6) コデンタル奨励発表賞（歯科衛生士と歯科技工士を表彰する）。優秀論文賞については、対象論文を本会機関誌「歯科審美」だけでなく、他学会などの審美関連論文に拡げるかどうかについて検討しました。細則と内規については別に定めました。

認定医、認定士については、ケースプレゼンテーションの論文投稿との関係で現段階では時期尚早と判断しました。運用しながら、より良いものにしたいと考えています。会員諸兄弟のご理解とご支援をお願い申し上げます。

(委員長 長岡英一)

広報委員会

日本歯科審美学会は1988年から2回の研究会を経て1990年11月に第1回の学術大会が開催されてから今年には20周年を迎えます。先進的な発想で学際的な学術団体として研究、臨床の成果を積み重ねてこられた諸先輩のご努力の結果、審美歯科という言葉も一般社会に根付き、白いきれいな歯を望む人たちの底辺は確実に広がり、また、材料や術式の開発・進歩は患者さんの様々な要求に応えることができるようになって来ました。

今やインターネットを通して情報を得る、あるいは得ようとしている人たちの数は計り知れないと思われます。本学会のホームページは学会員への情報の発信と同時に、一般社会への審美歯科啓蒙と治療への感心を高める手段としての役割が課せられています。今期の広報委員会は特にホームページの社会的な役割に重点をおいて更新を計画しています。

(委員長 黒田康子)

[Back](#) |

2009年 Winter Vol.18 (20089年2月発行) より

福岡歯科大学口腔顔面美容医療センターの紹介

福岡歯科大学口腔顔面美容医療センター・センター長 佐藤博信



平成19年4月1日、福岡歯科大学医科歯科総合病院に「口腔顔面美容医療センター／形成外科・歯科」が開設されました。この福岡歯科大学口腔顔面美容医療センターは、口元の美回復のみならず、顔面との調和を基本概念として、美容外科（形成外科）との医療連携を行うことにより、様々な患者からの要望に応えられる診療科として開設されました。現在、スタッフは私以下、歯科部門は松永興昌講師、長島義之講師、片山知子助教、他協力スタッフ数名、形成外科部門は福岡大学医学部形成外科の協力のもとに蔡 顯真非常勤講師、大塚顕子非常勤講師で、診療、教育にあたっております。

我々のモットーは『健康な口元は美しいもの』であり、歯科治療では機能面を回復すると同時に、審美性を回復することが重要な目的となります。更に口元だけでなく、顔全体で美しく若返ることができれば…「老化は自然の摂理」という今までの概念は変わりつつあり、アンチエイジング（老化現象の防止）が医療の一分野として注目されてきています。このようなニーズに応え、顔全体としての美しさを考慮に入れた医療の展開は、本学の中期構想である口腔医学の確立の構想の一部を担うものと考えています。そこで、当施設では、顔全体の機能的観点から、形成（美容）外科・歯科（審美）治療に取り組むべく、症例検討会など医科と歯科が密に連携を取った診療体系の構築に取り組みを進めているところです。





2009年 Winter Vol.18 (2009年2月発行) より

賛助会員一覧

 相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026
東京都府中市南町6-31-2

Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-jp>


ASTRA TECH

アストラテック株式会社
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16

Tel: 03-5775-0515
<http://www.astratech.jp>



医歯薬出版株式会社
〒113-8612
東京都文京区本駒込1-7-10

Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>


passion vision innovation

Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033
東京都文京区本郷1-28-24 4F

Tel: 03-6903-3535
<http://www.ivoclarvivadent.com>


ULTRADENT
JAPAN 株式会社


ウルトラデントジャパン株式会社
〒105-0012
東京都港区芝大門1-3-15 ATビル2F

Tel: 03-3437-0751
<http://www.ultradent.com/>


EIKO CORPORATION

株式会社エイコー
〒110-0005
東京都台東区上野3-17-10

Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

 長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517
東京都品川区西五反田5-17-5

Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033
東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



クラレメディカル株式会社
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraray.co.jp/dental>


SDS KERR
SHIBON DENTAL SPECIALTIES

サイブロン・デンタル株式会社
〒113-0021
東京都文京区本駒込2-29-24

Tel: 03-5977-3127
<http://www.kerr-japan.com/>



株式会社ジーシー
〒174-8585
東京都板橋区蓮沼町76-1

Tel: 03-3965-1221
<http://www.gcdental.co.jp/>


SHOFU

株式会社松風
〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町11

Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>

sirona

シロナデンタルシステムズ株式会社
〒108-0074
東京都港区高輪2-15-21
高輪小野ビル3F
Tel: 03-5475-2255
<http://www.sirona.co.jp>

タカラベルモント株式会社

タカラベルモント株式会社
〒542-0083
大阪市中央区東心斎橋2-1-1
Tel: 06-6212-3619
<http://www.takara-dental.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041
東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>

Tokuyama Dental

株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016
東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>

NISSIN

株式会社ニッシン
〒601-8469
京都市南区唐橋平垣町8
Tel: 075-681-5719
<http://nissin-dental.jp>

白水貿易株式会社

白水貿易株式会社
〒532-0033
大阪市淀川区新高1-1-15
Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>

Dent Wave.com

プランネットワークス株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂1-6-19
KY蒲池ビル
Tel: 03-5573-4188
<http://www.dentwave.com>

PENTRON[®]
JAPAN INC.

ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014
東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>

モクダ 茂久田商会

株式会社茂久田商会
〒650-0047
神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>

MOMOSE

株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691
大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>

MORITA

株式会社モリタ
〒564-8650
大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>

株式会社 ヨシダ

株式会社ヨシダ
〒110-8507
東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>



Happy Smiles & Heartful Communication

PYRENEES
In-Office Teeth Whitening System

白い歯、 輝いていますか？

Eriko Kumazawa

歯科用漂白材 **ピレーネ** 製造販売 三菱ガス化学株式会社

●医療機器承認番号 218008ZZ10066000 ●医療機器の分類 高度管理医療機器(クラスIII) ■標準価格 30,000円
○掲載商品の標準価格は、2009年1月21日現在のものです。標準価格には消費税は含まれておりません。○ご使用の際は必ずお読みください。

発売 **株式会社モリタ** 大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

www.dental-plaza.com

無料の学術動画を多数配信中!! その他歯科情報も満載!!

歯科医療従事者のための総合情報サイト

DentWave.com

登録料
年会費
無料

<http://www.dentwave.com>

オリジナルUSBメモリー(2GB) プレゼント!! (~2009年4月30日)



※色はおまかせください。

2009年4月30日までに、
この広告をご覧になって、ご登録頂いた方には、
2GBのオリジナルUSBメモリをもらえなくプレゼント!!

●ご登録時に、下記のキャンペーンIDをご入力ください。●

キャンペーンID: **J A E D**

※ご登録の際にキャンペーンIDが未入力の場合、プレゼント対象外となります。あらかじめご了承ください。写真はイメージです。実際の色とは異なることがあります。



プランネットワークス株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-19 KY溜池ビル
TEL:03-5573-4188 FAX:03-5573-4388 E:main@dentwave.com

プロフィラックス フェリエ

■ エアーマーター仕様
標準価格:3,174,000円(消費税別)~
標準 外部注水エアーマーター(DA-270)・
仕様 スケーラー(パリオス)…各1本装備



Prophylax **ferie**
[プロフィラックス フェリエ]

それは、「休日」という名を持つ
新発想のデンタルユニット。

タカラベルモント株式会社 ホームページアドレス
<http://www.takara-dental.jp>
東京 〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-19 TEL.(03)3405-6877 FAX.(03)3470-7259
大阪 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1 TEL.(06)6212-3602 FAX.(06)6212-3698

| [Back](#) |